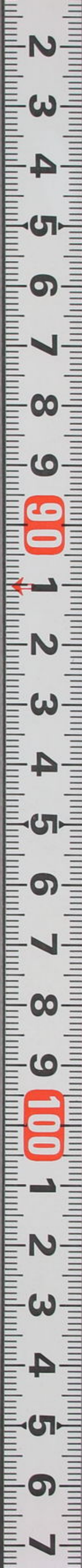


本朝孝子圖會

貳



9
3743
2



昭和十六年一月十一日寄
尼野實漢氏贈

本朝孝子傳卷二目錄

- | | | | |
|----|------------|----|------------|
| 一 | 彼中占見村久右布 | 二 | 日國中六系院村新右妻 |
| 三 | 日村五布右系門妻 | 四 | 日國中八崎村六女妻 |
| 五 | 日國淡江村治布右系妻 | 六 | 日國三田村久右清 |
| 七 | 日國山口村長七布 | 八 | 日村 三花 |
| 九 | 寒河村森十布 | 十 | 西香登村与左門 |
| 十一 | 大中山村与玄清吏婦 | 十二 | 服部村与七布 |
| 十三 | 長船村与玄清 | 十四 | 乙子村与玄清妻 |
| 十五 | 磯上村長左系門吏婦 | 十六 | 日村 六布右系門 |

十七 八日市村 某

十九 大岩村 弥五郎子

廿 西大寺村 又玄清妻

廿三 小串村 七郎玄清女

廿五 樞系村 久左衛門

十八 康徳村 夫婦分六郎右衛門

二十 横井上村 太郎左衛門

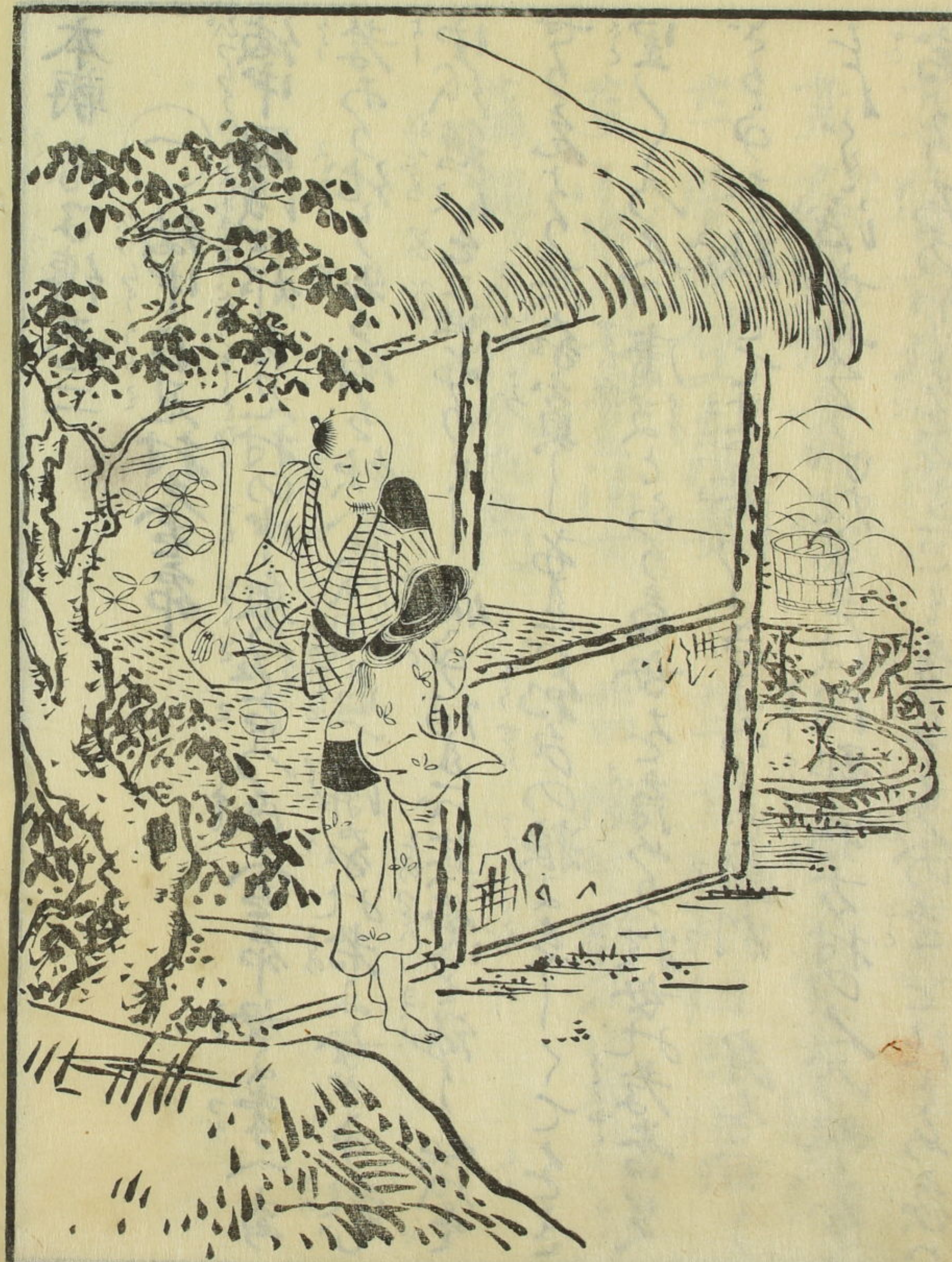
廿 才崎村 仁玄清

廿四 塩生村 久仁郎

本朝孝子傳卷二

一 徳中右見村 久左衛門

徳中國邊に郡右見村の中奥佐古乃氏久左衛門母久左衛門(あ)
孝あり化り出る時を飲食成個而て隣家此若み母がうむ
申紙無に云云ありり一病のりいふ其母も病に臥せ
たり元より其家を具一もいふ初めの糧より多くてをこ
里く乃人の庸役とあり毎母を云月より親母に孝者足
ざるを歎きて其妻よりきみあつて離別一身を百り
とれど渡世ゆりいたさばは日郡野方村の人乃奴とて
宿より乃のりを云云とてり登る主人の事とてはとめ候



家へつて母を安んじぬまじり人の方へ移ぬくと
 年わりの暦元年民は富る若し一勢みせり金
 若乃田畠をいふえまじり圓へ皆えのまじりと
 ぶたう法とて定まらば久を希が田畠をまじり
 若た悉くうえまじり久を希我力まじり金貢を捧
 三横めりうに地賣し事ふまじり永くつるあま
 更なるまじりまじり公乃命ら難あまじり
 公よりまじりまじり又公命み背まじり一歳及
 まじりまじり強あまじり久を希と辞まじり
 今年まじり其候まじり来年よりまじり

べと云々ぐてぞありけるを希に欲に一多心緒を
とどめ自こてりとせどとく其母を震へる人小勝
多貢云後あるとて其里に鑑とふまうとて一郷の氏
其母のあげ多那吏り達へ多まば烈云感へる
て尚座乃堂へ多金米を賜り又以後の生業と示
り那吏り令へ給つり

二 日那中六条院村孫玄清妻

日那中六条院村の民孫玄清が妻男姑は(多孝順也
男姑も外の家にありま乃家より其間六七町を隔
ぬきと日く音信一多をき日ふ一初をい行ぬ

よろば味屋一き物を個へ多必とめあり男姑も酒と
好りるし酒はあやと承意の洪水も困然
て酒をく價をく多まば大に憂てまにに涼くかくし已
一夜を賣多酒はりあをめり妻にが親の所に給時
やぶ男姑とむくよりそに多後給ぬくらとて
あやの所にありてと安うばとつり親のあや多食ふ
と何と必持りてと男姑の家に給とめてまう
我がうきうき孫を承けりしかそも貢一き者
いふと心付多極い労り一腕も流る程我
れも貢一さりのあに志切り或年一人の身をく

病のありしより、労を篤く看護せしめて、其の
 死してより三日とあひく、病後あり、今一人の男を
 の僕とて、園にありしより、男姑のときより、方ふ
 とあひ、孝子とて、厚くとしめり
 烈云、園に大り、賞をわけて、食米を給ふなり

三 日村五希を忠門妻

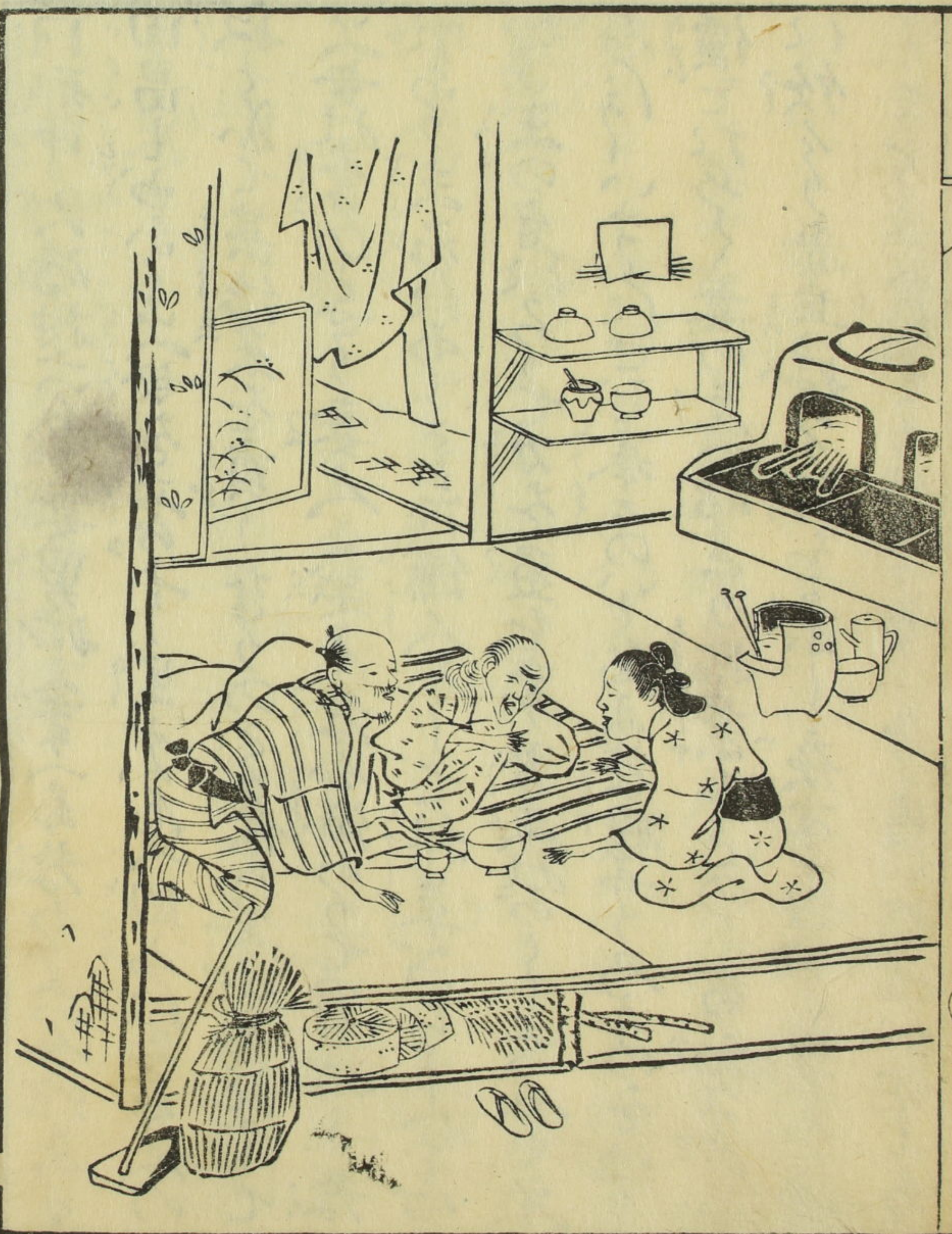
日村の里に五希なるが妻、舅姑に、孝子なり、五希
 ちの兄弟に、ありしが、皆妻を娶ふ、其の妻を二人に
 の舅姑に、いれし、と五希なるが妻の、忠門とて、
 けりし、より、多と申す、婦の、ありし、より、多と

おく、ちの、ゆき、も、あ、げ、姑、を、お、も、て、お、も、き、若、ふ
 多、希、は、ち、あ、き、と、一、度、さ、う、ふ、は、年、あ、い、病、ち、あ、り、
 床、を、さ、ふ、し、ず、と、い、は、家、満、ち、る、を、あ、き、と、い、ふ、く、
 て、勤、り、勞、り、起、り、し、り、あ、き、も、あ、り、三、婦、の、姑、の、と、い、
 と、病、に、し、り、あ、き、困、り、あ、き、と、い、は、ち、あ、り、
 け、し、ば、姑、に、死、し、餘、で、其、志、乃、厚、く、し、り、を、い、ふ、
 涙、を、な、げ、か、た、と、い、は、ち、あ、り、
 久、く、病、に、あ、り、其、つ、程、の、勞、り、に、已、が、兄弟、に、お、し、
 母、の、病、に、あ、り、し、り、と、い、は、ち、あ、り、
 か、た、は、病、に、あ、り、し、り、と、い、は、ち、あ、り、

往多ひる看痛くくまへ一婦の人々皆彼が志を感ぜざる
 ちふく又まほふきに暇暇の休むて嫁姑乃よにしま
 たり一帯ちのち妻に似どようぬ若もまど妻の徳
 知ふよりてゆきまどとる者多し一旗とい極めて
 急比せり終に人とい不和ある城など己のまやうとあ
 つふけくきふけまど始りくちなるし稍解く満ちた
 さまより一かよう一里みゆび人のを城にせり郡吏具
 み達しなりまどば 烈云白浪を珍ひる其若と堂参
 一あり

四 日那中大崎村六女妻
ササドとありまどササマ

日那中大崎村六女が妻買姑み事へあ孝なり六女他も
 田島とあふく父母を孝なりまどる父園にみあふ
 奴もて其結末を真なりなるのころ命の里に託して
 父母は孝なりとて妻人ふ越く孝心満ちて買姑り孝
 順ありま家にゆくまど傭人をて耕草さるゝむら
 ちまの身はうて力を盡と事男まどくく六女も身
 をほいすにせど奉ふのいはみ茶種やうりのを焼
 價とたれく妻のえへ給より姑茶をこのもあねるふ
 に飲り妻其好むおを奈し夜中とるも茶を沸
 してとめあむる厭つるやさしに姑病に卧しあ



新あふいど二使うひうある衣服をけしひきよめて洗ひ
 しけがさる物をあせど雨のふり日と洗ひし衣乾ぐば
 衣み脱るる身のとゆふあうとす赤子とあつる慈母の
 おもひは姑今この世にいらぬが足牙をよびあ婦の顔に
 あふるるあふあふ死しててもう忘んや外あひあ
 めはは只婦のう一向あのみどとああ死しぬ男を後
 あき若あ婦あふあふあふあふあふあふあふあふあふ
 うけしきさるる食物と申うあふしきを男にとむ
 とでた八旬うあふあふあふあふあふあふあふあふあふ
 一ああああ斜めあふあふあふあふあふあふあふあふあふ

其孝を賞さうたり

五 月國淡江村治希玄妻

月國窪屋那淡江村治希玄妻が妻の姑に孝あり姑病
臥して身定まらざれば其二便をぬくも人のけがらなく人
を將り疾くみ餘不目疾志のび幸に流しうけがら夜を
洗濯して又汚しうらみぬぬる限なくぬを盡し身を
ふだぬ何のよしと後い姑に孝ありとさうい合をきく
まゝ多しとやまの然らば不孝の者にして妻が母の
の事へて耕作の事あり姑怒りて終に離別せり
妻一たび離別せりして其家にぬれぬるの恥づかしとふ

とて姑に娘となり我ふく又誰の事ある者なりとて記
みあるまで志のひかりて看痛し姑死して後親のりり
ゆりぬく孝を誦し姑わづらひとふりあやうく終り事
とていけ婦とよく終り
烈云圃石たけしあき
孝婦なりと賞せらるゝて倉本氏編りぬ

六 月那三田村久玄清

月那三田村の氏玄忠とある者妻を娶する男けり
かたうき若く一村の若名に呼ばれど若ふまに極めて
はへいこきと婦能にらきて孝婦を盡せり男若に
といひ婦に策むと嫁入り怒りばうとすさうふあき



ふく^{ふく}し^し我^わや^やま^まう^うけ^けぬ^ぬる^るけ^け後^ごね^ねけ^けり^りふ^ふと^と
な^なぐ^ぐさ^さあ^あね^ねけ^けり^りあ^あさ^さむ^むり^りあ^あり^り男^{おとこ}あ^ある^るに^にあ^あま^まり^り終^は
あ^あり^りか^かふ^ふね^ね終^は夜^よ終^はり^り添^そ外^とあ^ある^る大^{おほ}小^こ便^{べん}中^{ちゆう}自^{みづか}肩^{かた}に^にあ^あり^り
て^て調^{てう}せ^せ子^こを^をと^とる^る母^{はは}の^のお^おく^く我^わ夜^よ婦^ふい^いて^て夜^よへ^へ男^{おとこ}
乃^な起^おこ^こる^る紙^し知^ちう^うさ^さり^りう^うさ^さい^い小^こ便^{べん}を^を田^での^の中^{ちゆう}に^にせ^せり^り夜^よめ^めく^く後^ご
婦^ふ此^この^の様^{よう}を^を見^みる^る涙^{なみだ}う^うく^くあ^あい^いき^きき^きと^と何^{なん}と^とい^いふ^ふ洗^{せん}ひ^ひ清^{せい}め^め
門^{かど}へ^へあ^あり^り毎^{まい}日^{にち}み^み乾^{かん}く^くあ^あま^まり^り男^{おとこ}あ^あれ^れを^をと^とて^て我^わ小^こ便^{べん}を^をい^い
く^くふ^ふと^とと^と大^{おほ}き^き怒^{いか}り^りな^なし^しに^に婦^ふ強^{きやう}り^り若^{わか}し^しや^やま^まり^りあ^あり^り
あ^あま^まり^りあ^ある^る角^{かく}と^とて^てあ^あま^まり^り店^{てん}に^にあ^ある^るえ^えき^き清^{せい}家^け極^{ごく}て^て真^ま
く^くあ^あま^まり^り同^{どう}く^くの^のあ^あま^まり^り奉^{ほう}ふ^ふく^くて^てう^うさ^さが^が承^{しょう}意^いの^の飢^う饑^き饑^きに^にあ^あり^り

受くくありて飢餓を絶つぬ婦をのこし賜りしを
 ともにも男もとりて自ら養ふべき物を食するありと
 飢人を救ふありと云ふにけりて村を巡るあり
 人彼家にも立入るも男を合せ其人と稱し某年老
 くるに如くぬりぬにても家の孝行ありと云ふ人
 美ありぬと云ふと其孝行のふけあけて婦をのこし
 いとよく給ふにけりぬにても男を合せて賑はし
 婦の孝行の實をのこしと云ふ 烈云々と聞ふ余某と
 賜り其孝行を賞し給ふ

七 日國山は村長七希

日國山郡台村の民長七希又孫を清み離れ母に仕へ
 る孝ありぬにけり篤く父死して後家事を長七希に
 任せしめしむるも長七希終りゆるとして只母はを
 是れ家事を司る事已みわく母何ふく公卿の方
 々しと云ふあり長七希母もいふあり我實れ子ふ
 ら孫も其の母と云ふにけり又其の子と云ふあり
 かく隔るをみゆに實り子といふも異ありんやと云ふ
 るうち和らぎて終り遂に老死んと云ふにけり
 めにやに母を前へて已を後し母を厚くして已に
 うと云ふ妻も又孝ありぬと云ふ夫婦た終り事ある

漢くさきいそを家の子ありともかたてしやと涙をなげ
あはれあふり身負しけしむ心曲にて無欲ありけ
きべ上の旅しをい貪らず其里人よくお和らぎてあふ
くしを愛敬するや夫婦との孝志を 烈云聞ゆ
長七其妻いし倉米を賜り感称し終り

八 月村三茂

月村り三茂とある若親み孝なりて又兄は憐なり一度
園山にあり宮田氏に仕へて奉公するやた勢ありしに
主人少とをい入る期既りありぬま仕をせんと
とど押しとぞ然らば又はふるの二年にておん

まろ宮野氏も彼が志をあらうて又立寄るやけふふく
はふるなりしをいしとぞ我一人の利ありて又母と
をいさく又いふをやとけふと経て後負しとぞ
わいふのとぞある奥山氏に仕へて終末と皆又
母の所に終りしとぞをいしとぞ私用とを秋にあらうて
又母の所より三茂がりてある事しむいしとぞ終へ
るも自のわいしとぞ又母れ急をえて必とたしけぬ
三茂が兄七を清つと限ふく病ありとる人看病
をいしとぞ其方をいしとぞ己が食と減して又兄を
わいしとぞ其兄とあるやめ切めあふと終一人の

勞をりてあせ清つわふ健まりぬ七を清同好るの
むきも三花をさういど兄の非ゆる疾と已と是也
とせどよく後いあまばすお和睦なりわく孝悌は実
つるの烈云同三花が若を賞い父母を孝を賜る
あ其貧を賑ひ三花を里いへて父母は久し
終り

九 和氣郡河村松十郎

和氣郡河村松十郎とある民篤實に孝悌ある若
なり母を奉てよく孝なり人みな之を孝悌とて
貧しく和氣の移とて金なりこのゆゑに孝悌

を安んじて外に求むか一松十郎は同胞に嫁
してあるが世を渡りていふは母をむくは
安く過し系せんといふ娘の家に嫁と
て貧しく其日を漸々とつれ松十郎が和たの
一とに其地を和とて松十郎が娘親みかき
とありああるが松十郎の方にもつて松十郎
あつたのもどありつる松十郎其娘を養ひむの何事
皆我より先いふあま見同人其孝實に感
人お母のぼく富にようば徳と好む理の母と娘と
ふあ知る一松十郎は妻子に對するは終りくふ



とる河ふく茶刈童みあり松十布小物を初めとし
ついでく昔て威儀のありはをる若めて其を
恥ぢるる一松十布ありて負て母と去るなり
を思ふる時妻み語りて云我ら一きよりて田を
賣山林を求めて母の暮いとせむと足て来たり
たり汝を何とて親の如くして時を待たや二人は
一人も男めとて耕さるるたけとせむとて一人は女め
は汝つとあるなりと妻も其を乃実あるゆとあれは聊
かつとふくまの云来りまうせぬ親の元へつと奉
まうわたりとて一人の娘をとりて又立つと娘とて

十希^とり^と書^とせ^とあり^と飽^とわ^とる^とて^との^と離^と別^とよ^とり^と孫^と妻^とあ^とり^と
い^とは^と十^と希^とよ^と書^と伝^とて^と子^とも^との^とみ^とを^とし^とひ^とあ^とせ^とふ^とじ^とて^と作^とま^と
お^とも^との^と恨^とも^とな^とり^と或^と時^とは^と十^と希^と其^と子^と人^との^と死^とも^との^と利^と回^と乃^と落^と
穂^とを^とい^とろ^とひ^とろ^とふ^とん^とあ^とい^とう^とい^とう^とて^とも^とあ^とり^と人^との^と物^とを^と其^と重^と
い^とじ^とて^と死^とを^と將^とと^と事^とた^とよ^とう^とに^と皆^と盜^とり^と汝^と何^とぞ^とい^とは^と
不^と義^とを^とな^とも^とや^とと^と拾^とひ^とい^とろ^とろ^と落^と穂^とと^と悉^とく^と其^と回^とよ^と
ろ^と拾^とを^とせ^とろ^とこ^とろ^と乃^と業^と人^との^と斜^とり^とと^とろ^とろ^とあ^とり^と
是^と十^と希^と乃^とを^と学^とぶ^とも^とい^とわ^とれ^と其^と貨^と押^との^とど^とろ^とあ^とり^と
世^と乃^と士^と君^と子^とも^と私^とに^とた^とる^とみ^とあ^とれ^とや^と必^とく^と負^とく^とこ^とろ^とあ^とり^と
是^とと^とも^と旋^とを^と好^とり^と自^と刺^とを^とこ^とろ^とて^と焼^とつ^とけ^と本^と又^と生^と火^と

又^と用^とゆ^とる^とそ^とれ^とく^とに^と死^とに^とけ^と或^とも^と病^と人^との^と家^と或^とも^と貧^と若^との^と不^とと^と
足^とあ^とひ^とそ^とろ^と其^と門^とに^と拾^とを^と多^とめ^とり^とぬ^とる^と事^とを^と人^とに^とあ^とり^と
ろ^とを^とい^とき^と恥^とろ^とき^とろ^とい^とろ^と店^とろ^と又^との^と忌^と日^と毎^とに^と寺^とに^と参^とり^と
も^と又^とか^とれ^とお^とじ^と初^とめ^と二^と里^との^と人^とも^と是^とを^とあ^とれ^とわ^とや^とと^とあ^とり^と
が^と孫^とも^とい^とふ^とぬ^とり^との^とお^とま^とは^と後^とめ^と人^とに^とま^と孫^とく^とあ^とり^とて^と皆^とに^とく^と
い^とは^と孫^とく^とろ^と若^とを^とか^とく^とて^と若^とい^とう^とく^とあ^とれ^との^と之^と若^と又^と子^と
見^と分^との^と同^とろ^とく^とい^とく^とあ^と和^とせ^とろ^とも^と乃^とわ^とま^とは^と是^と十^と希^と歎^と
か^とく^とあ^とひ^と初^とて^とあ^とま^とを^と孫^とめ^とん^とと^とろ^とふ^と其^と孫^と人^との^と公^とよ^と入^とて^と
い^とは^とこ^とも^と孫^とを^と出^とさ^とる^とよ^とう^とろ^と其^と孫^とひ^とと^と愛^とさ^とる^と人^との^とあ^とり^と
ま^とあ^とま^とづ^とろ^とや^と其^と里^との^と若^とも^と理^との^とま^とう^とら^とか^とれ^とる^とあ^とり^と

皆悉十布、同賜、ある何れんと何れより、或時十布、
に十銭、ある山を賣んと、其賣主に云く、其島の中、惡地
我力及んで、村の憂と成り、公より、彼地に
を、その賣主、山の價を減と、然らば、更に換わ、
その賣主、聞て、其價、いふ、と、十布、二十、八銭を減
して、十、八銭、と、いふ、賣主、とら、其地を、その賣主、
中、と、つ、十布、は、山、永代、此地、に、付て、いふ、米、を、人、
の、村、より、と、給、米、して、中、定、まり、あり、付、一里、の、者、園、
一、村、より、米、を、は、いふ、後、いふ、患、と、いふ、思、ら、
山、強、て、に、十、銭、いふ、世、ある、と、十布、に、し、米、を、必、と、せ、

